

## 子育て支援に関するニーズ調査票に対する意見一覧

## [事務局整理の考え方]

- 国共通設問以外のもので、選択肢が10以上あるものは、精査を検討します。
- 国共通設問につきましては、設問・選択肢の趣旨、条件、回答方法に影響がない範囲での軽微な変更のみ行います。

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
1	調査全般	-	QRコードをつけて直接回答できるようにしたらいいのではないかな。	次回調査に向けての検討課題とします。	第1回子ども・子育て会議
2	調査全般	-	前回の会議でも話題になりましたが、紙ではなくインターネット上から入力などができると良いと思います。回答率も上がると考えられますし、データの集計も簡単になるのではと思います。	次回調査に向けての検討課題とします。	浅井 順委員
3	調査全般	-	全体を通して質問の分岐が複雑で、紙ベースだとわかりにくい。将来的にはオンライン調査(重複回答を避けるためにID付与と併用で)を検討して頂きたい。	次回調査に向けての検討課題とします。	隈丸 加奈子委員
4	調査全般	-	回答率を上げるために、もう少し設問を少なくした方がよいと思われる。	全体の設問数・選択肢数を精査します。	大橋 久委員
5	調査全般	-	就学前児童保護者と小学生保護者の質問項目や文章がとても長いです。少しでも簡潔にできた方が回答率が上がると思います。想像以上にヘビーなアンケートでした。	全体の文章を短くするとともに、設問数・選択肢数を精査します。	山田 真梨子委員
6	調査全般	-	アンケートの内容としては特に問題ないと思います。的外れな意見かもしれませんが、このアンケートは小学生以下のお子様をお持ちの保護者の方は、保育園、育成室の待機児童、アクティビティなど実際、自分たちに反映されると感じられる内容(実際に区が取り組んでいる事業)が多いのに対し、中高生にはそういった自分たちに反映される事があるのかどうか分からないので、何かこの事業での明確な支援内容(現在取り組んでいる事業など)が分かる資料などを添付した方がアンケートに答える人にとっては「答えよう」と思ってもらえると思う。(何のためにこのアンケートをする必要があるのかとってしまうのではないのでしょうか。)	中学生本人及び高校生世代本人の調査票にも図を掲載します。 また、中学生保護者、中学生本人及び高校生世代本人調査票に「用語の説明」を同封します。	鈴木 賢司委員
7	調査全般	-	中学生本人だけではなく、小学校の高学年くらいにも対象にできないか。	小学校では全学年のアンケート調査を実施します。 この調査は全学年のニーズを把握するため、保護者を対象とします。	第1回子ども・子育て会議

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
8	調査全般	-	震災等のあった場合の資料として、学校までどれくらいの時間がかかるか、把握の仕方でもできないか。	都内では発災時は学校に留まることが前提とされています。子どもの安全対策は各私立学校においても取り組んでいることもあり、設問は見送ります。ただし、「事故や事件に巻き込まれる不安を感じる理由」(「就学前」No.39-1、「小学生」No.23-1、「中学生」No.16-1)の選択肢に「通学が遠いから」を追加します。	第1回子ども・子育て会議
9	調査全般	-	最後まで記入していくと、途中で色々な意見や質問が浮かんでくると思うので、回答は難しいと思いますが、ご要望やご提案とあわせて、質問もあれば書いてもらうと良いのではと思いました。	この調査は無記名で、質問に対する回答ができないため、見送ります。なお、調査の最後に自由意見欄を用意しております。	浅井 順委員
10	就学前児童保護者 小学生保護者	-	アクティや民間学童保育や公設の育成室の違いをちゃんと理解した上でどっちを選ぶ、選ばないという選択をしているかどうかというのは、利用意向調査をちゃんと実態に即した形で反映させる意味でも、重要だと考える。	就学前児童保護者調査票の問21、22及び小学生調査票の問25、26の選択肢に「都型の学童保育サービス」「民間の学童保育サービス」を追加し、放課後全児童向け事業はカッコ書きで「(アクティなど)」を追加します。併せて各サービスの説明を、別紙「用語の説明」に記載します。	第1回子ども・子育て会議
11	就学前児童保護者	-	0歳の方に本当はいつから預けたかったかのような、区でしか聞けないところが拾い上げられるといいと思う。	問25-5、25-6で質問します。	第1回子ども・子育て会議
12	就学前児童保護者	-	「あて名のお子さん」の表記が気になります。 ⇒例:(お子さんA)等とし、「あて名の～」は最小限にしては如何でしょう。	重複する表現や長文を防ぐため、各設問の精査を行います。	佐々木 妙子委員
13	就学前児童保護者	問2	生年月と、平成30年4月1日現在の年齢の両方を記載させるのはなぜか？	誤回答防止のため、両方の記載をしています。	隈丸 加奈子委員
14	就学前児童保護者	問9-1	「祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください」という質問で、「5. その他」に何を記載すればよいかわからない。両親以外が子供をみることによる、両親が感じる負担感や不安感を問いたいのであれば、問い自体を「祖父母等の親族にお子さんをみてもらう際に感じる不安感・負担感等についてお答えください」としてはどうか。	無理せずに預かってもらえるかという観点で整理します。設問を「祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください」に変更します。	隈丸 加奈子委員
15	就学前児童保護者	問9-1	選択肢「5. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」に関して、前半部分の日本語の意味がよくわからない	文章を短くする視点も踏まえて、設問を「負担をかけていることが心苦しい」に変更します。	隈丸 加奈子委員
16	就学前児童保護者	問9-2	「知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください」という質問で、「5. その他」に何を記載すればよいかわからない。両親以外が子供をみることによる、両親が感じる負担感や不安感を問いたいのであれば、問い自体を「友人・知人にお子さんをみてもらう際に感じる不安感・負担感等についてお答えください」としてはどうか。	無理せずに預かってもらえるかという観点で整理します。設問を「友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、気掛かりなことはあるかお答えください」に変更します。	隈丸 加奈子委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
17	就学前児童保護者	問9-2	選択肢「5. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」に関して、前半部分の日本語の意味がよくわからない	文章を短くする視点も踏まえて、設問を「負担をかけていることが心苦しい」に変更します。	隈丸 加奈子委員
18	就学前児童保護者	問10 (1)(2)	(1)のボックスからでる矢印を統一した方がわかりやすいのではないのでしょうか。例えば、両方も薄い線のボックスの右側に「(1)-1、2へ」「(1)-3へ」というように。	(1)の選択肢1、2、3、4の右側へ「→(1)-1へ」と表示します。また、(2)の選択肢1、2、3、4の右側へ「→(2)-1へ」と表記します。	山田 真梨子委員
19	就学前児童保護者	問11	問12のように問11の「利用していない」という選択肢を「問11-1」の最後に「15. 利用していない」として「→問11-5へ」とした方が時短になるのではないか。	国共通設問となるため、変更できません。	山田 真梨子委員
20	就学前児童保護者	問11-1	設問「あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を使用していますか。」の「使用」を「利用」へ変更する。	設問中の表記を変更します。	佐々木 妙子委員
21	就学前児童保護者	新規 (問12の後)	「現在政府で検討されている幼児教育無償化が実施された場合、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。」という設問を追加してはどうか	(2)の設問として、「無償化の場合利用を希望」を追加します。	隈丸 加奈子委員
22	就学前児童保護者	問14-1	[事務局提案]	設問が「毎日ではなく、たまに利用したい理由」という表現となっているが、「仕事」目的の利用者にとって、「たまに」という表現は適切ではないため、「毎日ではない理由」という表現へ変更します。	事務局
23	就学前児童保護者	問15-1	「ファミリー・サポート・センターを利用した」と「ベビーシッターによる病児・病後児の保育を利用した」は、区別して選択肢に加えた方がよいのではないか？	区別して選択肢を設定します。	隈丸 加奈子委員
24	就学前児童保護者	問15-3	回答者を「病児保育施設を利用しなかった」方に限定しているが、限定せずにした方がいいのではないか？	国共通設問となるため、変更できません。	隈丸 加奈子委員
25	就学前児童保護者	問15-6	どのような施策に結び付けたいのか、よくわからなかったので教えて頂きたい。	国共通設問となります。(国における法制度等の検討のため。)	隈丸 加奈子委員
26	就学前児童保護者	問16	[事務局提案]	選択肢に「ショートステイ(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)」を追加します。	事務局
27	就学前児童保護者	問18	Aの選択肢を囲う枠のフォントが他と異なり、強調しているのか、気になった。	他と同様の囲みに変更します。	山田 真梨子委員
28	就学前児童保護者	問21	次期(H32-36年度)のためのニーズ調査なので、その期間にお子さんが就学する保護者全員(H31年4月就学のみではなく)を対象にした方が良いと思います。	国共通設問でニーズ量を算出するための設問で、利用(就学)直前のニーズを把握したいと考えています。	越野 一郎委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
29	就学前児童保護者	問21	選択肢4、5、6は、「小学生保護者用」p.6、問14の⑰～⑲と同じにした方が良いと思います(上記No.1の内容を反映していただいた上で)。	小学生保護者調査票同様、「都型の学童保育サービス」「民間の学童保育サービス」を追加します。	越野 一朗委員
30	就学前児童保護者	問21	選択肢5. 育成室[学童保育]については、区の育成室と、民間学童は区別して選択肢に加えた方がよい	小学生保護者調査票同様、「都型の学童保育サービス」「民間の学童保育サービス」を追加します。	隈丸 加奈子委員
31	就学前児童保護者	問21 問22	全く同じ選択肢のため、文章を繰り返しのせなくてもいいように、回答欄を2つ並べればいいのかではないでしょうか。	国共通設問となるため、変更できません。	山田 真梨子委員
32	就学前児童保護者	問22	選択肢5. 育成室[学童保育]については、区の育成室と、民間学童は区別して選択肢に加えた方がよい	小学生保護者調査票同様、「都型の学童保育サービス」「民間の学童保育サービス」を追加します。	隈丸 加奈子委員
33	就学前児童保護者	問25	質問形式が変わり、数字を書き込むスタイルは手間に感じてしまうのではないかと。	国共通設問となるため、変更できません。	山田 真梨子委員
34	就学前児童保護者	問25	選択肢4. 「仕事に戻るのが難しそうだった」というのは、具体的にどのような状況を指しているのかわかりにくく、選択肢1と混同する可能性もある。自分の仕事スキルの問題を指しているのであれば、「休業中に自分の仕事スキルが低下し、仕事に戻るのが難しくなった」と等の補足説明が必要ではないか。	カッコ書きで「(自身のスキル低下、休業に伴う退職勧告等)」を追加します。	隈丸 加奈子委員
35	就学前児童保護者	問25-4	日本語が少しわかりにくいと思う。「育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、希望する保育サービスが希望の時期に利用開始できると仮定した場合、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、本当は何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。」というのはいかがでしょうか。	国共通設問となるため、変更できません。	隈丸 加奈子委員
36	就学前児童保護者	問25-4 問25-5	尋ねたいことはわかるが、25-4と、25-5の違いが少しわかりにくいと思う。25-4と25-5の間に、「お勤め先の制度では、育児休業は子供が最大何歳何か月になるまで取れますか」という質問を挟み、3歳未満の人に対し、25-5の質問をしてはどうか。	国共通設問となるため、変更できません。	隈丸 加奈子委員
37	就学前児童保護者	問25-5	日本語が少しわかりにくいと思う。「お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、また、希望する保育サービスが希望の時期に利用開始できると仮定した場合、お子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休暇を取りたかったですか」というのはいかがでしょうか。	国共通設問となるため、変更できません。	隈丸 加奈子委員
38	就学前児童保護者	問25-7	元々勤務時間が融通が聞かため、短時間勤務を選択しない方もいるので、回答1のカッコ中の最後に「など」を加えて「・・・もともと時短勤務だった、など」としてはどうか(回答が限定されていて、該当しない方もいるように思う)	選択肢のカッコ書き内に「など」を追記します。	隈丸 加奈子委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
39	就学前児童保護者	問25-9	設問中の「事業」を「事業(保育園など)」として、事業が何を指すか分かりやすくしてほしい。また、育児休業に関する質問なので、問25-4の直後に移動させることを検討して頂きたい。	設問中の表記を変更します。 また、25-3～25-8は25-2で「1.」を回答した方で、25-9は「2.」を回答した方となるので、設問の順番は変更できません。	隈丸 加奈子委員
40	就学前児童保護者	問25-9	この設問は、現在0歳で育児休業中の人のみ答えるように限定したほうがよいのではないかと例:問25-2で、「2. 現在も育児休業中である」とお答えの方のうち、あて名のお子さんが0歳の方におうかがいします	国共通設問となるため、変更できません。	隈丸 加奈子委員
41	就学前児童保護者	問25-9	もし設問数に余裕があれば、「1歳」のところを「2歳」にした質問も追加してもよいかもしれない。	設問数が多いという意見を踏まえ、見送ります。	隈丸 加奈子委員
42	就学前児童保護者	問26	子育てを楽しいと感じるかについて「わからない」と「無回答」の差異が不明。気持ちを聞く質問については他の箇所も「わからない」は選択肢に不要ではないでしょうか。答えられなければ「無回答」となるはず。	選択肢から「5. わからない」を削除します。	黒澤 摩里子委員
43	就学前児童保護者	問27	[事務局提案]	選択肢を整理する方針を踏まえ、類似する選択肢を削除します。	事務局
44	就学前児童保護者	問28	この設問はどの選択肢も重要な対策ではありますが、分析から得られる結果にはあまり期待できないように思われます。 例えば、「子どもを虐待していると思うことがありますか」という設問や、周囲で虐待が疑われる場合はあなたならどうするかを設問するのはいかがでしょうか。	前回調査結果においても「2.」「8.」などが回答の上位を占め、ニーズの変化を踏まえた施策を検討する上で各選択肢は必要と考えます。また、保護者の思いは、問27で行います。	黒澤 摩里子委員
45	就学前児童保護者	問30	選択肢2、8について、「前回調査時の回答者が少ないため削除検討」とされていますが、選択肢9「子育ての悩みや不安を気軽に相談できる育児の経験者を紹介してほしい」(前回調査では就学前6.1%、小学生4.7%)も回答者が多いとは言えないのでしょうか。	就学前児童保護者及び小学生保護者の調査ともに5%以下の回答者となる設問を削除しましたが、選択肢を整理する方針を踏まえ、ご指摘の設問を削除します。	黒澤 摩里子委員
46	就学前児童保護者	問30	[事務局提案]	選択肢を整理する方針を踏まえ、前回回答者が少ない選択肢及び設問の趣旨から逸れる選択肢を削除します。	事務局
47	就学前児童保護者	問32-1	[事務局提案]	「8. 子どもがのびのび育つ環境ではない」は、回答者の具体的なイメージが難しいため、削除します。	事務局
48	就学前児童保護者	問33	各家庭特有のこだわりのある体験があるのでは。体験をA～Eに限定するのはいかがでしょうか。 体験を多数挙げ、複数回答としたらどうでしょうか。最後の選択肢に「この中であてはまるものはない」を設定すればこの設問の意図は残すことができると考えます。 また「金銭的な理由」と問34にある「経済的にできない」の金銭的と経済的で意味が異なるのでしょうか。	この設問は「子ども宅食プロジェクト」の世帯アンケートの設問と共有しており、「経済的理由でできないもの(剥奪)」を調べるもので、回答方式は変更できません。 「金銭的な理由」「経済的理由」は、「金銭的な理由」に統一します。	黒澤 摩里子委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
49	就学前児童保護者	問34	問33と同様、A～Hに限定するのいかがか。様々な選択肢の複数回答方式で足りるのではないのでしょうか。また「E.お誕生日のお祝いをする」⇒「誕生日の(お)祝いをするの、「お」は不要ではないのでしょうか。簡潔な表現を心がけたい。	この設問は「子ども宅食プロジェクト」の世帯アンケートの設問と共有しており、「経済的理由でできないもの(剥奪)」を調べるもので、回答方式は変更できません。また、設問「E.」の表現を変更します。	黒澤 摩里子委員
50	就学前児童保護者	問35	具体的な家電などの状況を聞く目的を教えてください	貧困に関する設問で、一般的な家電の所有状況(剥奪状況)を把握するものです。	隈丸 加奈子委員
51	就学前児童保護者	問35	経済的な理由ではなく、個人や家庭で価値観が異なるため選択肢にあるようなものを備えていないことも想定され、「経済的な理由のために」と限定して質問するのはいかがか。 貧困について調査をするのであれば「経済的理由のために」を削除し、「以下の中からご家庭にないもの(あるいはご家庭にあるもの)の番号すべてに○をつけてください」とする設問形式でいいのではないかと。 世帯の年収を追加設問することで貧困家庭の課題が分析されるのではないのでしょうか。またH23年10月内閣府調査「親と子の生活意識に関する調査」(保護者用)も参照ください。	この設問は「子ども宅食プロジェクト」の世帯アンケートの設問と共有しており、単に必要性がない方や家庭での価値観により購入していない方を除くため、「経済的理由のために」としています。また、世帯年収については、回答率にも影響があるため、見送ります。	黒澤 摩里子委員
52	就学前保護者	問36	[事務局提案]	選択肢に「子ども家庭支援センター」「保健サービスセンター」「教育センター」を追加します。	事務局
53	就学前保護者	問37	[事務局提案]	選択肢を整理する視点を踏まえ、「5. 平日の日中…」「6. 土日や夜間…」を統合します。	事務局
54	就学前児童保護者	問42	「社宅」「借間」も想定されますが、「その他」になるのでしょうか。	お見込みの通りです。	黒澤 摩里子委員
55	就学前児童保護者	問44	[事務局提案]	問33と設問の趣旨が類似するため、統合整理します。	事務局
56	就学前児童保護者	問45	[事務局提案]	選択肢に「友人宅内」を追加します。	事務局
57	就学前児童保護者	新規	配偶者の子育て分担状況(時間数と満足度)の設問を提案。子育てが楽しいか、現実の子ども数・理想の子ども数との相関関係の分析にも活用可能と思われず(内閣府の調査によれば第二子以降は配偶者の子育て参加状況と関連するとされている)。	設問数が多いという意見を踏まえ、見送ります。	黒澤 摩里子委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
58	就学前児童保護者	新規	文京区における居住年数を設問することで、サービスの周知・利用状況(問29、30、31、36、37等)や利用希望、あるいは文京区に対する評価の相違が分析されるのではないのでしょうか。	設問数が多いという意見を踏まえ、見送ります。	黒澤 摩里子委員
59	就学前児童保護者	新規	地域は子育て支援は重要な要素と考えられます。地域福祉計画との関係も考慮し、中学生本人(問8)、高校生世代(問12)に設問されている近所の人との付き合い状況の設問を保護者調査にも追加提案します。 あるいはもう少し具体的な選択肢で設問することも考えられます。居住区(問1→一定の区域に統合)や上記追加提案の居住年数との関係も分析が可能となります。	設問数が多いという意見を踏まえ、見送ります。	黒澤 摩里子委員
60	就学前児童保護者	新規	子育てしやすいまちを標榜することを想定し、文京区は子育てしやすいか、これからも文京区で子育てしたいかの設問を追加提案します。子育て家庭の評価指標の一つとしても活用できるのではないのでしょうか。	国共通設問として、「子育ての環境や支援への満足度」に関する設問を追加します。(小学生保護者、中学生保護者調査票にも追加)	黒澤 摩里子委員
61	小学生保護者	問12	[事務局提案]	選択肢を整理する方針を踏まえ、類似する選択肢を削除します。	事務局
62	小学生保護者	問13-1	選択肢6「小学校教諭・スクールカウンセラー」は2つに分けた方が結果が明確になると思われます。分割しても合計すれば前回調査との比較は可能です。	選択肢を「小学校の先生」と「スクールカウンセラー」に分けます。 同様に中学生保護者調査票の問11-1の選択を「中学校の先生」と「スクールカウンセラー」に分けます。	黒澤 摩里子委員
63	小学生保護者	問14	⑰～⑳は、それぞれの事業内容の違いがわかるような簡単な説明がついていると良いと思います。【C】の「今後利用したい」の判断材料となると思うので。	別紙「用語の説明」に概要を記載します。	越野 一郎委員
64	小学生保護者	問14	【C】の選択肢には「3.わからない」があった方が良いように思います。	回答欄が煩雑になるため、見送ります。	越野 一郎委員
65	小学生保護者	問15	[事務局提案]	選択肢を整理する方針を踏まえ、前回回答者が少ない選択肢及び設問の趣旨から逸れる選択肢を削除します。	事務局
66	小学生保護者	問22-1	[事務局提案]	「8. 子どもがのびのび育つ環境ではない」は、回答者の具体的なイメージが難しいため、削除します。	事務局
67	小学生保護者	問25	土曜日の過ごし方に関する質問もあった方が良いのではないのでしょうか。	設問数が多いという意見を踏まえ、見送ります。なお、土日祝日、長期休暇の育成室の利用希望は問26-2、問26-3で行います。	越野 一郎委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
68	小学生保護者	問30	アの選択肢を囲う枠のフォントが他と異なり、強調しているのか、気になった。	他と同様の囲みに変更します。	山田 真梨子委員
69	小学生保護者	問30	[事務局提案]	選択肢に「短期入所生活援助事業(子どもショートステイ事業)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)」を追加します。	事務局
70	小学生保護者	問33	[事務局提案]	問15と設問の趣旨が類似するため、統合整理します。	事務局
71	小学生保護者	問35-1	保護者が運動させたい理由と子ども本人の理由が混在しているのでは。問35-2から推察すると保護者の理由と考えられるので「本人が自発的にやりたいと言ったため」を追加することを提案。 「体力・スポーツに関する世論調査」(内閣府)を参照ください。	選択肢に「7. 本人が自発的にやりたいと言ったため」を追加します。	黒澤 摩里子委員
72	小学生保護者	問35-2	「指導者がいない」「特に理由はない」の選択肢は必要ないでしょうか。「その他」に入るのかもしれませんが。	選択肢に、「指導者がいないから」「特に理由はない」を追加します。	黒澤 摩里子委員
73	小学生保護者 中学生保護者	新規	子ども自身の友達関係を何か聞くような項目があった方がいい。	小学生保護者調査票の問12「不安や悩み」の設問の選択肢に「子どもの友人関係のこと」を追加します。 同様に、中学生保護者調査票の問10「不安や悩み」の選択肢で「子どもの友人関係のこと」、中学生本人調査票の問2の選択肢で「友だちとの関係」を入れています。	第1回子ども・子育て会議
74	中学生保護者	問2	LGBTに配慮したのかと思われませんが、男女共同参画社会の実現のためには男女別の集計は必須と考えます。よって選択肢に「その他・答えたくない」を加えればよろしいかと思います。	男女別の分析・施策展開を予定していないため、削除しています。	黒澤 摩里子委員
75	中学生保護者	問10	[事務局提案]	選択肢を整理する方針を踏まえ、類似する選択肢を削除します。	事務局
76	中学生本人 高校生世代本人	案内	保護者向けのニーズ調査の表紙の裏には「いただいた回答は、文京区の子育て支援の充実に生かされます」という図をのせているのに、本人用(子ども用)のものにのせないのはなぜか。図はわかりやすく、自分の意見がどのように反映されるのか本人たちも知りやすい。	中学生本人及び高校生世代本人の調査票にも図を掲載します。	佐藤 浩子委員



No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
77	中学生本人	問1	[事務局提案]	選択肢を以下のとおり変更します。 「2.必要なこと以外もときどき話をする」 「3.必要なこと以外はあまり話さない」 「4.あまり話さない」	事務局
78	中学生本人	問7-2	問7の限定質問ではないので、「知らなかったから」が最後8の選択肢に入るのではないのでしょうか。また「特に利用したいとは思わない」の選択肢も想定されるかと思えます。	選択肢7-1、7-2、7-3はb-labを「知っている」方に限定して行います。 また、「特に利用したいと思わない」は「2.興味・関心がないから」に類似(内包)すると考えます。	黒澤 摩里子委員
79	中学生本人	問7-3	b-labを利用している人にも要望は聞いてもいいのではないのでしょうか？問7-3は限定質問ではなく、問8としてすべての方に青少年プラザに希望することは何ですか？とし、問7-1の利用状況とクロス集計を行えば利用者、未利用者のそれぞれの要望が現れると考えます。よって現行の問7-3の選択肢は増やした方が充実します。	問7で「1.知っている」を選択した方全員に「b-labがどのような施設になれば、(さらに)利用したいと思えますか。」と質問するよう変更し、以下の選択肢を追加します。 「5.悩みごとや心配ごとを相談できる」 「6.特にない」 なお、高校生世代本人の問11及び問11-3についても、同様に変更します。	黒澤 摩里子委員
80	中学生本人	問8	「b-lab」を「利用している」人に対する質問として突然ずれているように感じた。	問7-1で「1.」又は「2.」を選択した方は、b-labについての質問は終了となり、次のカテゴリー(近所の人や地域との関わり方)の質問に誘導しています。	山田 真梨子委員
81	中学生本人 高校生世代本人	新規	ヤングケアラーについての設問をいれてはどうか。	中学生本人(問2)及び高校生世代本人(問)6に「日常的に育児を手伝わなければならない」「日常的に家族の介護をしなければならない」を追加します。	第1回子ども・子育て会議
82	中学生本人	新規	性別の設問がありません。「1.男性」「2.女性」「3.その他・答えたくない」とするのはいかがでしょうか。LGBTに配慮しつつも性別の課題を抽出することは必要と思えます。例えば問2の「1.成績・受験のこと」は男性が、14.15の育児や介護については女性に負担がかかっている可能性があります。固定的な性別役割分担意識が子どもの将来の選択を狭めているかもしれません。基本属性の性別は配慮しつつも設定すべきだと思います。なお、H28年男女共同参画社会に関する世論調査(内閣府男女共同参画局)はもとより、各種世論調査では性別を設問しています。	男女別の分析・施策展開を予定していないため、削除しています。	黒澤 摩里子委員
83	中学生本人	新規	文京区の愛着度を「大人になっても文京区で暮らしたいと思えますか」で設問。	この調査の目的から逸れるため、見送ります。	黒澤 摩里子委員
84	高校生世代本人	表題	「文京区子育て支援に関するニーズ調査」というタイトルは、中高生世代本人にとっては馴染まないもので、表題をとってしまい、「～調査へのご協力のお願い～」とするか、別のタイトル(例:若者に関するニーズ調査)にした方が良いと思われる。	中学生本人及び高校生世代本人の調査票は表題をとり、「～調査へのご協力のお願い～」とします。	第1回地域福祉推進協議会
85	高校生世代本人	問5	「祖父母」「その他」が必要だと思う。	設問を中学生本人調査票(問1)と同様に変更します。	千代 和子委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
86	高校生世代本人	問6	選択肢に、「家庭の中に居場所がありますか?」「家庭の中で仕事を引き受けていますか?」を追加する。	「8.家族との関係」を「8.家族との関係・家庭での居場所」へ変更します。	千代 和子委員
87	高校生世代本人	問7	選択肢に「習い事・塾の先生」「塾の友達」を追加する。	選択肢に「習い事・塾の先生」を追加します。「塾の友達」は「友だち」に類似(内包)すると考えます。	千代 和子委員
88	高校生世代本人	問8	選択肢に「ゲームセンター・ファミレス」を追加する。	他にも「コンビニエンスストア」「ファーストフード」など様々あるため、「12. その他」での対応とします。	千代 和子委員
89	高校生世代本人	問14-2	選択肢に「いじめにあっている(暴力を受けている)から行きたくない」を追加する。	選択肢に「6.いじめにあっているから」を追加します。	千代 和子委員
90	高校生世代本人	問14-5	選択肢に「家族の介護・家族からの虐待」を追加する。	選択肢に「7.家族の介護や育児がある」を追加します。問14-6にも同様に選択肢を追加します。	千代 和子委員
91	高校生世代本人	問15	選択肢に「24時間の電話相談できる場所(ドクター含め)」を追加する。	選択肢2の「・・・相談できる窓口の整備」に類似(内包)すると考えます。	千代 和子委員
92	高校生世代本人	新規	[事務局提案]	相談窓口の認知度に関する設問を追加します。	事務局
93	高校生世代本人	問15	選択肢が少ないと思われます。追加提案として、「政治や経済など社会人として積極的に社会に関わる態度を身につける機会の提供」「若者の意見発表機会の充実」「貧困家庭への支援」	区の取組みを前提としているため、「経済的自立に向けた支援」を追加します。	黒澤 摩里子委員
94	高校生世代本人	新規	問15の前に今の生活が充実しているかを問う設問を提案 1.充実している 2.どちらかといえば充実している 3.どちらかといえば充実していない 4.充実していない	この調査の目的から逸れるため、見送ります。	黒澤 摩里子委員
95	高校生世代本人	新規	青少年の今日的課題を注視したアンケートを作成しているのかと思いますが、分野が狭いように思われます。 参考に「平成30年版 子供・若者白書」によれば、日常生活、学力、健康、職業的自立、社会形成(ボランティア等)、引きこもり・不登校、ネットに関する問題等多岐にわたります。 子供・若者の現状と意識に関する調査(平成29年度)～調査対象:16歳から29歳までの男女では、 1.仕事に対する意識 2.将来像 3.就労に対する不安 4.就労に関する相談先 5.キャリア教育・職業教育 6.働き方の実態、就業、無業の理由 7.現在の生活水準が設定されています。区の施策の範囲もありましたが、設問分野を広げてもいいのではないのでしょうか。	今回の子育て支援計画の策定に当たり、「子ども・若者育成支援についての計画(子ども・若者計画)」は含んでおりませんが、自立支援の観点から高校生世代調査を初めて取り入れました。 ご指摘の通り、分野を限定した調査とさせていただきます。	黒澤 摩里子委員

No.	調査票の種類	設問No	ご意見の内容	ご意見に対する調査票への反映等	会議名・委員氏名
96	高校生世代本人	新規	インターネットに関する設問を追加したらいいのではないか。	No.95と同様の理由により、見送ります。	黒澤 摩里子委員